

一般質問通告書

No.1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

平成26年11月21日

東村山市議会議長様

議席番号 7番

質問者 小町 明夫

記

番号	質問の項目と要旨
1	<h2>水害ゼロに向けた取り組みについて</h2>
	<p>9月定例会終了後に生活文教委員会で愛知県小牧市へ伺い、総合治水対策について行政視察を行いました。小牧市で学んだこと、これまで一般質問での答弁をふまえて短期に出来ること、長期的な視野にたった提案を含め以下質問します。</p>
①	<p>今回の視察に所管の環境安全部長にご同行頂きましたが、小牧市の取り組みについて率直な感想を伺います。</p>
②	<p>今年も市内において、大雨や台風による被害が発生しました。行政、消防団の対応と被害状況、併せて近年の傾向について伺います。</p>
③	<p>市内で大雨が発生した場合、現状では水害ゼロにするのは困難であると言わざるをえない。水害発生時に全てを行政、消防団、消防署が対応するのを期待するのではなく、市民が出来る範囲で対応することが減災につながると思うが見解を伺います。</p>
④	<p>東村山市の防災マップ、洪水ハザードマップは平成22年に発行されているがその後の改定状況について伺います。</p>
⑤	<p>愛知県小牧市では「みずから守るプログラム地域協働事業」を活用して手づくりハザードマップ作成支援事業、大雨行動訓練実施支援事業を行い成果を上げている。我が市においても同様の取り組みを行うことで、住民同士で考える力、危機意識の共有を図ることが出来ると思うが見解を伺います。</p>
⑥	<p>市役所HP上の「もしものときの防災・防犯」をクリックすることでハザードマップやその他の情報が得られるが、もっとわかりやすく「防災・災害」と「防犯」に分けた表示方法に改め、防災マップ、洪水ハザードマップは誰もが検索しやすいように単独表示に改めることを提案するが見解を伺います。</p>
⑦	<p>市役所HPのトップページに「東京アメッシュ」や気象庁の「ナウキャスト」のリンクを貼って住民への告知に利用することを提案するが見解を伺います。</p>
⑧	<p>昨年9月定例会の質問で土のうステーションについて提案させて頂いた。その後庁内での検討状況について伺います。</p>
⑨	<p>本年10月よりゴミの全品目戸別回収となり、一部集合住宅を除くと市内にあるゴミ集積所は不要になりました。現在あるゴミ集積所を今後どのように利活用するのか伺います。</p>
⑩	<p>昨年9月定例会の一般質問で土のうステーションの設置を提案した。その時の答弁では場所や予算の課題があるような答弁であった。土のう配備にはそれ程予算処置が必要とは思えない。場所については不要になったゴミ集積所が最適と思うが見解を伺います。</p>
⑪	<p>1つ提案をします。世田谷区では過去の集中豪雨等の被害をふまえて区内各所に土のうステーションを設置しています。不要になった市内ゴミ集積所は正に適所になると思いますが見解を伺います。</p>

